

## 浜名港プレジャーボート係留施設指定管理者評価委員会会議録

1 開催日時 令和2年2月18日(火) 16:20~17:15

2 開催場所 浜松総合庁舎9階901会議室

### 3 出席者

<評価委員会委員>

氏名	所属・役職
うえもり たつろう 上森 達朗	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会 救助事業部長
おおいし まさひろ 大石 真裕	一般財団法人静岡経済研究所 主席研究員
おおたに ゆうき 大谷 裕紀	静岡県中小企業団体中央会西部事務所 西部事務所長
こばやし ひろゆき 小林 宏行	海事代理士小林事務所 海事代理士
すずき ゆうさく 鈴木 雄策	静岡県漁業協同組合連合会 指導担当参事

※敬称略、五十音順

<事務局(港湾企画課)>

福元局長、吉村課長代理、中野班長、美濃口主事

<関係者(浜松土木事務所維持管理課)>

岩瀬課長代理

### 4 会長選任

評価委員会委員の互選により、鈴木雄策委員が会長として選任され、会長は副会長に小林宏行委員を指名した。

## 5 会議の内容

- ・指定管理者、委員及び事務局の発言の要旨を記載している。
- ・発言者は特定しておらず、会長は会長職としての発言のみ特定している。
- ・発言者は次のとおり記載する。会長：会、委員：委、指定管理者：指

会 今年度1年間の評価とこの5年間の期間評価を合わせて実施する。

会 先ず、指定管理者のヒアリングを実施する。

(説明(20分間))

委 舞阪P B Sの新規艇募集を年1回しか実施しない理由と舞阪P B Sが一番人気がないということについてどういう風に考えているか教えて欲しい。

指 新規艇の募集は民業圧迫にならないように年1回としている。

年2回へ増やすには民間マリーナの承認が必要で、さらに県にも届け出が必要となる。

人気がない理由のひとつは、駐車場がないということである。

釣り客からすると場所は良いが、駐車場がない。

委 舞阪P B Sだけ回数を増やすとか何か考えた方が良いのではないか。

指 今日、視察した民間マリーナは70%程度使用されているため良い方である。浜名湖全体も隻数が落ちてきているので、舞阪P B Sだけが取るのは難しい状況だが、話を投げかけてみたいと思う。

約束はできないが努力はする。

委 募集を上回るマリーナもあり、マリーナによって応募の数に差があるが、マリーナ間でお客さんを融通し合う事はあるのか。

指 お客さんからの要望に応じての移動はあるがこちらから誘導することはない。

募集の際、第3希望まで出してもらっている。

空いている所をすすめることもやっている。

1年間はその間に入ってもらい気に入らなければ別に移ってもらう。

指 補足すると舞阪P B Sは駐車場はないが他はあるのが人気のない理由である。

公共マリーナ、舞阪P B Sでは年間1万円から2万円程度利用料金に差がある。

委 この利用者アンケートは定期的なものか、利用者へのフィードバックはあるのか。

指 利用者アンケートは1年に1回実施しており、フィードバックは行っている。

委 内容は変わるのか

指 変えないと文句ばかり出る。

ゴミ問題等別途にアンケートをとることもある。

浚渫等は評価を頂いている。

委 水路の安全航行のため浚渫をしてくれているが、浚渫は指定管理者の仕事なのか。

指 本来は違う。

指 事故があつてからでは遅いため実施しており、お金は市も出している。

委 今年度収支計画ではマイナス 400 万円となっているが、これについてはどう考えているか。

指 収支計画の中段に書いてあるとおり、今年度浚渫に 350 万円かかっているのが大きい。

指 固定納付額が 1,200 万円が厳しかったため、ずっと県に言ってきて、来年度からおしなべて 850 万円平均となったため、その辺りでなんとかやりくりをしていきたい。

しかし、隻数も減ってきているのでなかなか厳しいのが現実ではある。

指 県が募集要項の中で 1,200 万円が 5 年平均で 850 万円平均となるようにした。

隻数の減少に応じて固定納付額も減るような仕組となった。

委 使用許可未申請者の意味を教えて欲しい。

指 P B S の契約ををそもそも止める人と言う意味である。  
今年限りで止める人である。

委 滞納の人はいるか。

指 督促して 1 年以内には納めてもらっている。

委 条例 13 条に書いてあるような強制執行はないのか。

指 過去にはある。

県がやっている。

委 一時、船を預かって、競売までやるのか。

指 競売までではない。

委 昨年の台風被害 15 号、19 号の被害状況はどうだったのか。

船舶保険の未加入率はどれくらいあるのか。

指 被害としては、杭が曲った、折れたりとは県で修繕した。

財団は流れ着いたごみを焼却した程度で済んだ。

委 船の損害はあったか。

指 船の損害はなかった。

保険の未加入率は募集をやっている最中で、今のところ 20% くらいである。

指 保険は原則 100% 入る事になる。

今、丁度募集をしている。

最終的には 100% に持っていくようにはしている。

最低限 4 千円で入るものも用意はしている。

他では 10 万円くらいのものもある。

それでも高いと言われている。

- 委 そこまで安ければ係留料にインクルードできないのか。
- 指 考えたことはある。
- 委 色々と問題があるのか。
- 指 値段が上がるとうるさく言われる。  
消費税が上がるだけでもうるさく言われる。  
保険の事務をやる手間がない。  
財団で保険に入ると保険会社から色々な作業を言われるが、そこまでは財団ではできない。  
事故があれば財団が出ていかなければならない。  
そこまではやりたくない。
- 委 保険はぶつけられたお客さんが可哀そうであるため、保険は必ず付帯すべきものである。
- 指 VANの保険も検討していくようにする。
- 委 VANの保険は高いからいいです。
- 会 ここで指定管理者には退場していただく。

(指定管理者退場)

- 会 今後のよりよい管理運営のため、各委員に講評をお願いします。
- 委 私は4年やらせてもらったが、管理運営面とか、地元との協働という面では年々向上しているし、色々しっかりやっている印象がある。  
利用隻数が増えていない、収支は減っていくと思われる。  
民業圧迫にもなるので難しいとは思いますが、評価の中で新たなサービスの項目もあるが、第2ステップとして何を目指していくのか方向性が難しく感じた。  
今年、この5年間は管理面でしっかりやったのではないかと感じる。
- 委 底辺をなんと発掘する。  
何か別の利用を考える必要がある。  
ビジターを受け入れてもリスクもなく可能だと思うので、もう少しできることを考えた方がよいのではないのかと思う。
- 委 ビジター利用とはスポット的な利用ということか。
- 委 別のところから来た船を短期間受け入れるという事である。
- 委 5年間関わったが、1年目にトイレ、管理棟を財団が設置した。  
今回は出入り口の浚渫をやって財団の枠を超えて利便性の向上に貢献し、地元との調整も上手くやっていただいた。  
大変良くやっていただいたと思う。  
今後も海洋レジャーの振興が継続できれば幸いだ。

委 委員は2年目だが、皆さんと同じ意見、利用者アンケートも利用しながら、駐車場の問題が一番大きいと思うので、1年1万円、2万円の違いであれば月で割れば利用料金の見直し等でなんとか対処できるのではないかと、利用者も納得するのではないかと、いずれにしても良くやったのではないのかと思うので、十分に成果があったのではないかとと思う。

委 昨年10月に来て、今年で2回目だがいつもきれいに片付いている。

管理人もしっかりあいさつができています。

安い所だと不愉快な思いをすることもある。

財団の指導が良いのではないかと、最後だが、浜名公共マリーナのような浮棧橋の方が良い。

マリーナの整備が本来の目的ではないので仕方がないが、ある程度県で将来の指針を出してあげた方が良く、思い切って廃止にするのか、じり貧で終わらせるのか、てこ入れして上昇させるのかを考える必要がある。

会 各委員はヒアリングを踏まえ、採点をお願いします。

(採点・集計)

会 採点の結果、配点合計74点、総合評価は「良：評価できる」となった。